とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	みずほひじり保育園
活動日時	令和　7　年　12　月　18　日　(木)
クラス名(年齢)	ぱんだ組　3歳児

1、活動テーマ

＜テーマ＞

落ち葉で遊ぼう

＜テーマの設定理由＞

自然の変化を感じながら身近な落ち葉に触れて　色や形の違いに気付いたり、大きさや長さを比べたりして、発見を楽しみ、友達と楽しさを感じ合う。

2. 活動スケジュール

①落ち葉拾い②落ち葉を踏み鳴らす音を探す③落ち葉を使って遊ぶ

3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

落ち葉、ブルーシート、白い紙、図鑑

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

落ち葉はどこにあるかな？の問いから落ち葉を見つけに散歩に出かける。4人グループ4組でグループごとに山道に入り、様々な落ち葉を見つけ大きさや長さや形や色に触れて発見を楽しむ。落ち葉の音はどんな音？の問いに自分で体験し感じたことを言葉で伝える。落ち葉を使って並べて絵を描いたり、友達と一緒にダイナミックに遊ぶ。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

① 「先生見て。穴があいてるよ。」「トゲトゲだよ。」「形が違うよ。」など気付きを伝えてくれた。「どちらが長い？」の問いに「こっち」と長さを比べて楽しんでいた。

② 「落ち葉の音はどんな音？」の問いに歩いたり走ったりして「サクサク」「シャキシャキ」「パサパサ」「シャリシャリ」と感じた音を言葉にして伝えてくれた。

③ 「落ち葉を使って絵を描いてみよう」と白い紙を用意すると、自分の好きな落ち葉を拾い「見て、顔だよ。」とできた喜びを感じていた。

④ 「落ち葉でお山を作ってみる？」と誘うと落ち葉を集め始め大きな山が出来上がる。出来上がるとその上にダイブして全身で感触を楽しんでいた。

5、振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

身近な自然に触れ、落ち葉の長さや大きさを比べていると「先生、ギザギザだよ。」と形の違いに気付き知らせてくれた。紅葉の歌を歌っていたので、もみじの葉の形を見て「赤ちゃんの手だね」と歌詞と実際の葉の形を見て感じ楽しむ子もいた。自分で体験することで言葉の表現も様々であった。落ち葉の音が「サクサク」「シャキシャキ」「パサパサ」「シャリシャリ」とそれぞれが感じた音を言葉にして伝え感じ方もひとり一人違う事に気付いた。自分で体験することで形、色、大きさ、長さに気付いたり、比べたりすることができた。「山を作ってみよう」の一言でダイナミックに遊ぶ姿へと変化し保育士の言葉かけ一つで子どもの遊びが広がる事にも気付かされ、日々の言葉かけを大切にしていきたいと思った。